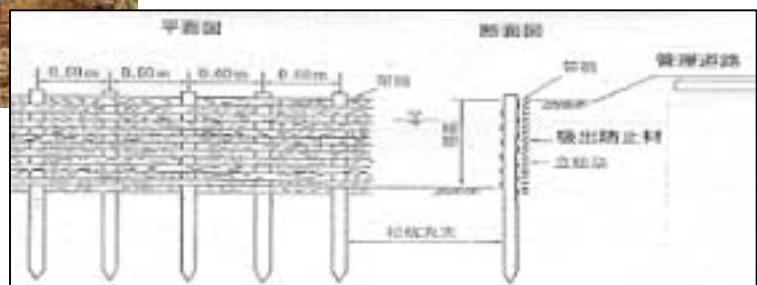


事例No.17		
事業名	地域用水環境整備事業 「長沼地区」	事例キーワード 粗朶柵工、生息環境配慮
事業担当機関	仙北地域振興局 農林部 農村整備課	
事業期間	平成10年～平成14年	
実施場所	仙北郡神岡町北櫛岡	
事業概要	全体事業費	89百万円
	工事概要	親水護岸 L=435m、管理道路 3路線、浮棧橋1基
	事業の目的	国道13号線「道の駅かみおか」の向かいに位置する長沼は、かんがい面積41haを有する農業水利施設であるが、経年変化による法面崩落や土砂流入により貯水機能の低下はもとより、池周辺の環境変化も憂慮されていた。 沼は、旧雄物川河川跡であるため、手つかずの自然豊かな水辺空間や、多様な生態系を育む地域資源として、農業水利施設の保全整備と一体的に水辺空間の再生を図ったものである。
環境配慮の内容	「区画整理、用排水路等の整備で生態系の保全に配慮した事例」 1. 沼周辺の景観、多様な水棲植物の生息域を維持保全するため、天然土木資材である粗朶柵工による法止工を採用した。 2. 比較的水位変化が少ない沼であることから、粗朶柵工の多孔質な構造が水中における魚類、水棲昆虫類の格好の生息域を創りだす構造とした。 3. 屈とう性を有し、地形に馴染みやすいため現況の緩やかな水際曲線が維持された。 4. 背面の雨水・湧水等の処理効果が期待でき、排水性に優れていることから工事期間中の水質汚濁を最小限に止めることができた。	
状況工後の	1. 伝統工法である粗朶柵工の採用により、工事後における水棲植物の生育及び水棲昆虫、魚類等の生息に変化は見られない。	

図面、写真、説明



粗朶柵工



完了



工事後、数年で自然豊かな水辺に再生



道の駅から沼の対岸に誘導する浮棧橋

遠方に見えるのが、国道13号を隔て位置する「道の駅かみおか」